

防除対策について

- トマトとミニトマトにおいて、トマトキバガに対する登録農薬は下記のとおりである（2023年11月28日現在 トマトキバガ登録農薬）。
- 薬剤抵抗性の発達を防ぐため、IRACコードが異なるローテーション散布を行う。
- 圃場内をよく見回り、見つけ次第捕殺する。
- 被害葉や被害果は圃場内から持ち出すとともに、暖冬傾向により越冬する可能性もあることから、野外に放置せずに速やかに適切に処分する。

作物名（登録有無）		IRAC コード	農薬名 （商品名）	一般名 （成分名）	使用方法	希釈倍数 使用量	使用時期	本剤の 使用回数
トマト	ミニトマト							
○	○	5	ダブルシューターSE	脂肪酸グリセリド・スピノサド水和剤	散布	1000倍	収穫前日まで	2回以内
○	○	5	ディアナSC	スピネトラム水和剤	散布	2500～5000倍	収穫前日まで	合計2回以内
○	○	5	ラディアントSC	スピネトラム水和剤	散布	2500～5000倍	収穫前日まで	
○	○	6	アフーム乳剤	エマメクチン安息香酸塩乳剤	散布	2000倍	収穫前日まで	5回以内
○	×	6	アグリメック	アバメクチン乳剤	散布	500～1000倍	収穫前日まで	3回以内
○	○	11A	エスマルクDF	BT水和剤	散布	1000倍	発生初期 但し、収穫前日まで	—
○	○	13	コテツフロアブル	クロルフェナピル水和剤	散布	2000倍	収穫前日まで	3回以内
○	×	22A	トルネードエースDF	インドキサカルブ水和剤	散布	2000倍	収穫前日まで	2回以内
○	○	22B	アクセルフロアブル	メタフルミゾン水和剤	散布	1000倍	収穫前日まで	3回以内
○	○	28	フェニックス顆粒水和剤	フルベンジアミド水和剤	散布	2000倍	収穫前日まで	2回以内
○	○	28	ベリマークSC	シアントラニリプロール水和剤	灌注	400株当り25ml	育苗期後半～定植当日	合計1回以内
○	○	28	プリロッソ粒剤	シアントラニリプロール粒剤	株元散布	2g/株	育苗期後半～定植時	
○	○	28	プリロッソ粒剤オメガ	シアントラニリプロール粒剤	株元散布	2g/株	育苗期後半～定植時	
○	○	28	ベネビアOD	シアントラニリプロール水和剤	散布	2000倍	収穫前日まで	3回以内
○	○	28	ヨーバルフロアブル	テトラニリプロール水和剤	散布	2500倍	収穫前日まで	3回以内
○	○	30	グレーシア乳剤	フルキサメタミド乳剤	散布	2000倍	収穫前日まで	2回以内
○	○	UN	プレオフロアブル	ピリダリル水和剤	散布	1000倍	収穫前日まで	2回以内

農薬の使用の際は、必ずラベルの内容を再確認し、記載希釈倍率、成分回数等の遵守をお願いします。



日本一の
おんせん県おおいた
味力も満載

連絡先：大分県西部振興局生産流通部 TEL：0973-23-2217